

平成22年度第2回年金業務監視委員会 議事録

1 日時 平成22年5月17日(月) 17:00～18:55

2 場所 中央合同庁舎第2号館11階第3特別会議室

3 出席者

(委員会) 郷原委員長 高山委員長代理 片桐委員 草野委員 岸村委員 村岡委員
吉山委員

(総務省) 階総務大臣政務官

田中行政評価局長 江澤年金業務監視委員会事務室長
讃岐総務課長 杉浦評価監視官 明渡評価監視官

4 議事

厚生労働省・日本年金機構からのヒアリング

5 会議経過(公開部分のみ)

【郷原委員長】 定刻となりましたので、ただいまより第2回年金業務監視委員会を開催いたします。

本日御出席予定の厚生労働省の石井年金管理審議官と日本年金機構の紀陸理事長は国会の関係で遅れるということで、後ほど御出席の予定です。

それでは、議事に先立ちまして、階政務官からごあいさつをいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【階政務官】 皆さん、今日もお疲れさまでございます。

本日から委員として、皆様よく御存じでいらっしゃると思います、ニュースキャスターとして有名な草野満代さんにも加わっていただきました。これからまた委員がそろったということで忌憚のない意見を出していただいて、そして年金業務監視委員会がより機能するように努めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【郷原委員長】 それでは、草野委員、ごあいさつをお願いします。

【草野委員】 御紹介いただきました、フリーキャスターの草野満代と申します。7人目の委員として参加させていただくことになりました。どうぞ、今後よろしく願いいたします。

未納問題に端を発した一連の年金問題のときは、ニュースの報道番組を担当しておりま

して、年金の大枠については理解していても、その運用でありますとか、それからシステムの詳細、あるいは将来の見通しなどについては全く知らない状態で、随分勉強したなという記憶があります。

私自身はNHKでサラリーマンをしております、その後独立をしたのですが、そのときのことを思い出すと、NHKを退局する日に厚生部の人から「明日から、あなたは国民年金になりますよ。だから手続をしてくださいね。」と、もし言われていなかったら、きっと未納の1人になっていたのではないかと。そのぐらい当時は無頓着だったなという気がしております。

そんな状況とは一変しまして、今は社会保険庁から年金機構へ引き継がれた仕事を、私も含めて国民のみんなが注視しているという状況だろうと思います。数々の問題があった社会保険庁から、やはり変わったのだということを非常に期待しているし、むしろ変わっていないということで簡単にながかりしてしまうというのも、また国民感情なのではないかと思っています。ですから、変わった、新しく生まれ変わったというところを仕事ぶりとして見せていただくことを期待しております。

年金が、しっかり、そして簡単な言葉で言うと、ちゃんとすると、何か漠然とした不安感みたいなものが多少なりともぬぐわれるのではないかと私自身は思っております。国民の視線が注がれる中で、そのプレッシャーの中で仕事をするというのは大変なことだというふうに思いますけれども、是非、悪いことは正し、改善し、そして、私たちはそれを監視することはもちろんですが、叱咤激励するような気持ちでこの委員としての仕事をさせていただきたいと思っています。

昨年の4月から、日本司法支援センター、通称法テラスというところの非常勤の理事を引き受けました。この組織も、平成18年に立ち上がった全く新しい組織でありまして、草創期の混沌とした、あるいは混乱した中で組織を整えていくという、その変遷の一端をかいま見ているところです。膨大なエネルギーと、そして時間が掛かることもよく承知しておりますから、是非、皆さんもその大変な状況を何とか乗り越えていただきたいなと国民の1人としても思っております。また、新しい職員の方が1,000人単位で加わったということも聞いておりますから、今までのいいところはもちろん継承するのだけれども、新しい文化をつくっていくのだという仕事ぶりを見せていただきたいと思っています。そして、その背中を少しでも押せるような委員としての仕事をさせていただきたいと思っております。微力ではございますけれども、国民の目線、そして納税者の目線でこの役割をしっかりと

り果たさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【郷原委員長】 ありがとうございます。

それでは、これから議事に入りますので、報道の皆様はここで御退室願います。

(報道関係者退室)

(これより議事が非公開となったため、議事録は当面の間公開しない)

以上